



vol.9



WEB



Facebook

発行：佐賀県農産課  
<http://www.pref.saga.lg.jp/list00069.html>



株式会社基里 OKファーム  
代表取締役 上種正博さん

## がんばれば、返ってくるものは大きい 若い力が勢いづける農業経営



### 喜びも不安も仲間とともに

寒さ厳しい冬本番の朝、ちらつく雪をものともせず、丸々と育ったキャベツが収穫を待っていました。ここでは、鳥栖市にある株式会社基里 OKファームの10haもあるキャベツ畑の一部。代表取締役の上種正博さんは、「寒くなると甘味を増すのがキャベツ。生でももちろんおいしいですが、レンジで加熱すると甘味がぐっと増します」と話します。

キャベツの年間生産量は約400~450t。ほぼすべてを外食向けや大手コンビニ等で使用する野菜として出荷しています。ほかにも、米、麦、玉ネギ、ジャガイモ、小松菜、ホウレンソウなどを生産。経営面積は平成29年末で24haに及びますが、実は、基里OKファームは設立してまだ5年。上種さんと、後輩の緒方紳悟さん、井邊敬士さんの三人が新規就農して立ち上げた農業法人だというから驚きです。「三人揃っていたから始められ、続けてこられた。一人ならできなかったと思います」と上種さん。三人で喜びも不安も目標も共有してきたことが、5年を続けてこられた理由だと話してくれました。

裏面へ続く・・・

### TOPICS



### 佐賀県農業大学校オープンキャンパス開催！

平成30年3月11日(日)10時から佐賀市川副町にある佐賀県農業大学校(佐賀市川副町南里1088)で、オープンキャンパスが開催されます。学校紹介や専攻実習体験のほか、卒業生との交流会も開催されます。事前に申し込みが必要です。

問い合わせ先、申し込み先：佐賀県農業大学校養成部 0952-45-2144





## 地域の農業のためには「なんでもやる」

基里 OKファームでは、米や麦は JAに出荷していますが、野菜は自分たちで販路を開拓し、出荷しています。生産物の価格を自ら決めるためには、売る側も買う側も納得できるよう市場の見極めも欠かせません。それが、取引先との信頼関係構築にもつながります。

また、いわゆる B級品で、JAに引き取ってもらえない生産物に対しても、上種さんは戦略を持っています。「美品じゃなくても味が良ければ買うという消費者への販路もあります。そして、いくらなら買ってもらえて、生産者にも黒字になるか、その単価のラインが私たちにはわかります。会社として交渉できるスキルもある。だから、地域で出る B級品の買い取りも行っています」。地域の農業のためにはなんでもやる、それが会社名に「OK」が付いている理由だと教えてくれました。

今後のビジョンはたくさんあると上種さん。「今はまず、売上高を1億円に乘せることが目標。農家が損をしないシステムを作りたいと思っています。そして、若手後継者を育成すること。農業の面白さを伝え、担い手を育てていくことは、私たちの義務だと思っています！」

もっと詳しいお話はwebサイトをチェック！



取締役 緒方紳悟さん

## アンケートにお答えください！

「SAGA アグリ之星」は、サイトとフリーペーパーで、次世代の佐賀農業を担う人材をご紹介します。今回のインタビューに関する感想や、佐賀の農業への思い、また、フリーペーパーやサイトに掲載する佐賀の農業情報や、農業に従事している人について、どんなことを知りたいかなどのご要望をお寄せください。

アンケートは、「SAGA アグリ之星」サイトで、スマートフォンからもお答えいただけます。右側のQRコードからアクセスしてください！



SAGAアグリ之星  
アンケートページ